

平成23年2月8日
国土交通省中部地方整備局
矢作ダム管理所

お知らせ

1. 件名 矢作ダム排砂工法現地実験の公募について
2. 概要 国土交通省では、現在、矢作ダム貯水池に堆積する土砂の対策として、流入してくる土砂をダムから除去または下流に排砂することにより、貯水池の保全を図る「矢作ダム堰堤改良事業」を行っています。
この矢作ダム堰堤改良事業における対策の1手法として、水頭差(水位の差)を利用した吸引方式による排砂工法の具体化を検討しており、機能を確認するための現地実験を行うこととしました。
つきましては、矢作ダム管理所と共同で、工法の検討と現地実験を行う方を公募します。
3. 実験場所 矢作ダムの上流6.2kmに設置されている貯砂ダム上・下流とする。
貯砂ダム位置：左岸 愛知県豊田市シシナド地先
右岸 岐阜県恵那市相走^{あいぼしり}地先
4. 資料 添付資料を参照下さい。
5. 同時配布 中部地方整備局記者クラブ・豊田市政記者クラブ・
豊田市政記者東クラブ・恵那市記者会に同時配布します。
6. 解禁 なし
7. 問い合わせ先
国土交通省中部地方整備局矢作ダム管理所
TEL 0565-68-2321
建設専門官 伊藤 真也
管理係長 宮本 幸典

矢作ダム排砂工法現地実験の公募について

矢作ダム流域の地質は、地表の花崗岩が風化し崩壊しやすい特徴を有しており、矢作ダムでは昭和46年3月の完成以降、毎年約30万 m^3 の土砂がダム貯水池に堆積しています。特に平成12年の恵南豪雨時には1年間で約280万 m^3 もの土砂が流入し、平成21年度時点では、計画堆砂量1,500万 m^3 に対する堆砂量の割合が約103%となりました。

このため、国土交通省では平成17年（2005）から、貯水池内に堆積した土砂の掘削と恒久的に排砂を行う排砂施設の検討を行うとともに、土砂移動の連続性を確保して、貯水池の保全を図る「矢作ダム堰堤改良事業」を行なっています。

この度、矢作ダム貯水池における堆砂対策の1手法として、水頭差を利用した吸引方式による排砂工法の機能を確認するにあたり、民間企業等から広く新技術や工法を公募し、現地実験を実施することとしました。

応募していただいた工法は、国土交通省の設置する専門家からなる審査会において審査を行った上で、現地実験並びに矢作ダム排砂施設計画に活かしていくこととします。

つきましては、以下の公募概要等により、応募してください。

矢作ダム排砂工法現地実験の公募概要

1. 目的

水頭差を利用する吸引方式の排砂工法を公募し、選定する工法について現地実験を行い、その機能を確認することを目的としています。

2. 公募する技術

固定式もしくは移動式による吸引方式の排砂工法について公募します。

※吸引方式とは、動力を用いず水頭差だけで排砂可能な方式（排砂開始時点では、動力を用いることも可能）で、固定式とは、吸引部を予め貯水池に埋設する方式、移動式とは、吸引箇所を移動できる方式を想定しています。

3. 実験時期

実験時期は、施設の設置・撤去を含めて平成23年10月から平成24年2月の間の3週間程度（実験ケースは流量を変えて3ケース程度）を想定しています。

4. 受付期間

平成23年2月9日（水）9:00～2月28日（月）16:00

5. 現地説明会

平成23年2月18日（金）13:00～ 現地（矢作ダム）にて行います。

6. 公募要領等

- ・ [公募要領 \(PDF:210KB\)](#)
- ・ [公募様式 \(Word:444KB\)](#)
- ・ [参考資料 \(PDF:428KB\)](#)

7. 問い合わせ及び応募先

国土交通省中部地方整備局 矢作ダム管理所

住所：〒444-2841 愛知県豊田市閑羅瀬町東畑67番地

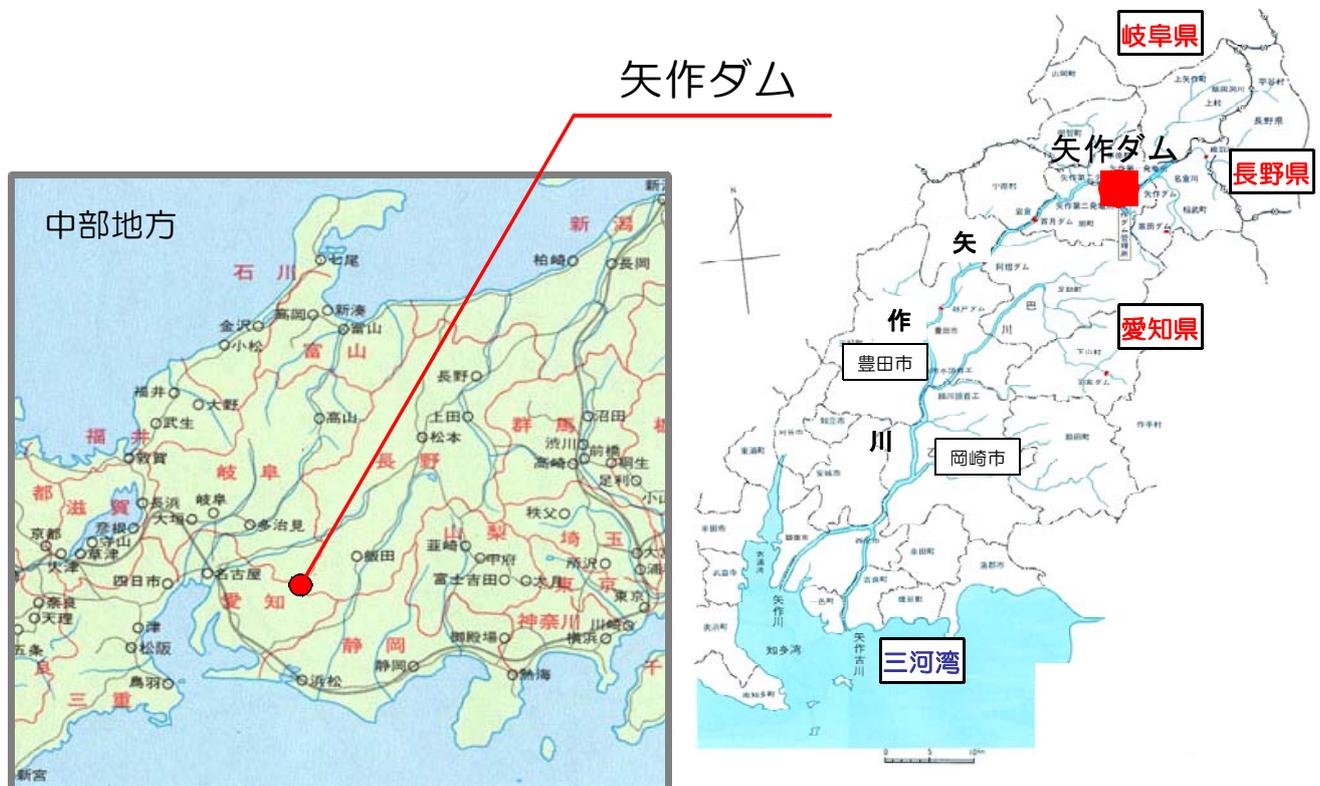
担当者：建設専門官 伊藤 真也

管理係長 宮本 幸典

電話：0565-68-2321 F A X：0565-68-2328

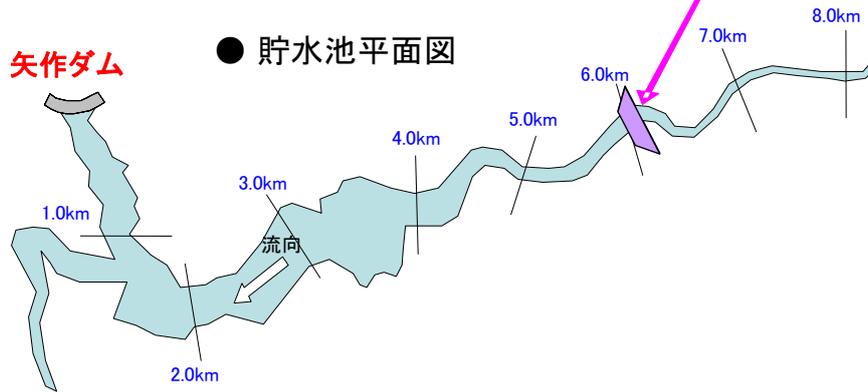
電子メール：yahagi@cbr.mlit.go.jp

矢作ダムの概要



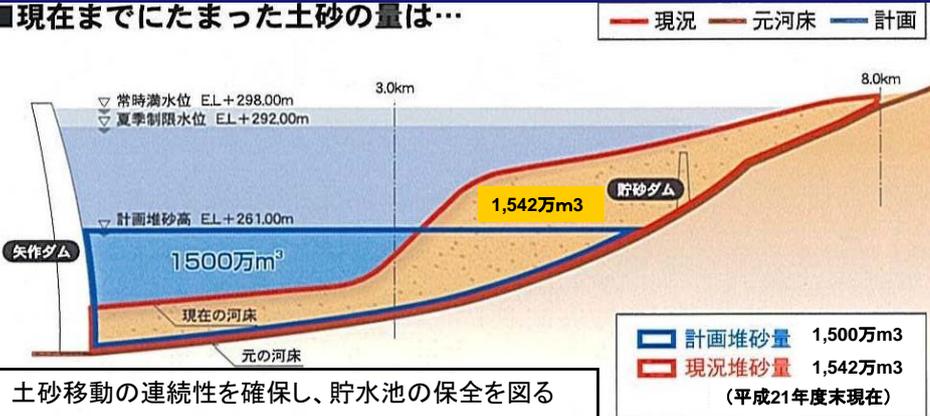
現地実験の主旨と実験場所

- 矢作ダム堰堤改良事業における堆砂対策の1手法として、水頭差を利用した吸引方式による排砂工法の実験を計画しており、この度、その工法について公募を行い、機能を確認するため現地に於いて実験を行います。

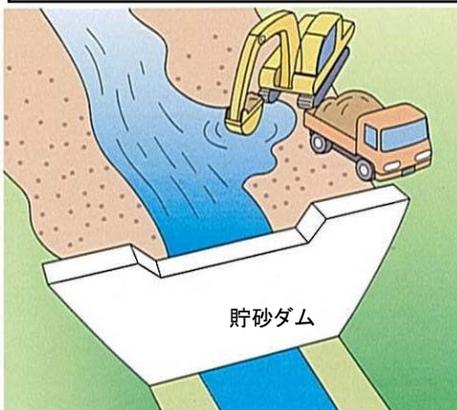


堰堤改良事業の概要

■ 現在までにたまった土砂の量は…



土砂移動の連続性を確保し、貯水池の保全を図る「矢作ダム堰堤改良事業」を行っています。



土砂をダム貯水池上流から除去



土砂をダム下流に排砂